

第1期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括



1. 第1期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的な考え方と推進体制	… 1
2. 第1期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標と基本的方向	… 3
3. 第1期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標とKPI、主な事業	… 4
4. 第1期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組み状況	… 8
5. 第1期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略_K P Iの達成状況について	…10
6. 第2期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けて	…17

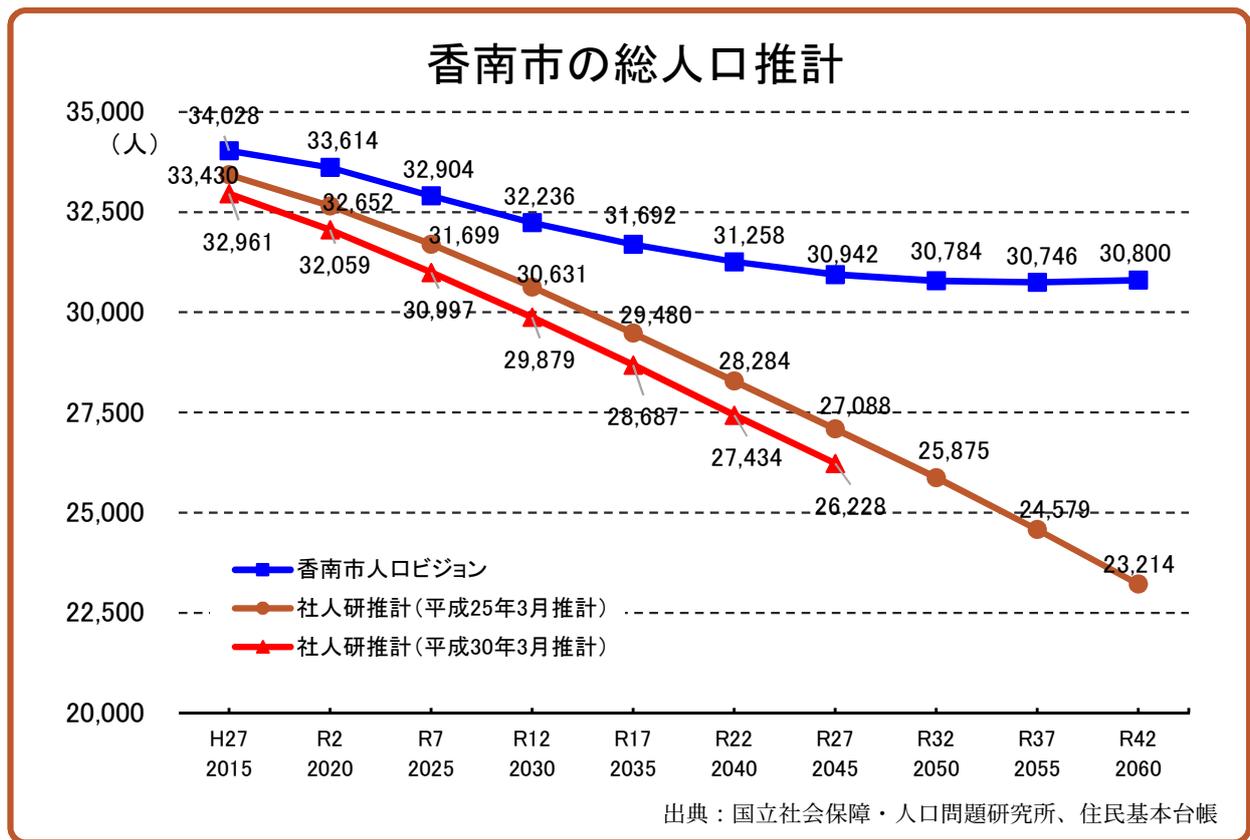
(1) 人口ビジョン策定の背景

平成成20（2008）年に始まった日本の人口減少は、今後若年人口の減少と老年人口の増加を伴いながら加速度的に進行し、2040年代には毎年100万人程度の減少スピードになると計測されています。特に、生産年齢人口の減少による経済規模の縮小、高齢者の増加による社会保障費の増加など、人口減少は経済社会にも大きな影響を及ぼすこととなります。すでに「危機的状況」であると言わざるを得ません。

この現状を打破すべく、政府は平成26（2014）年12月に、国と地方が総力を挙げて地方創生・人口減少克服に取り組む上での指針となる「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」および、地方創生のための施策の基本的方向や具体的な施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。

本市においてもこれを受け、人口の現状を分析するとともに、今後目指すべき方向を示す「香南市人口ビジョン」を策定しました。

その人口ビジョンにおいて、香南市は自然減の縮小や社会増に向けた一連の対策を講じることにより、**2060年の総人口の将来展望の見通し**について、**約3万人**の実現を目指すこととしています。



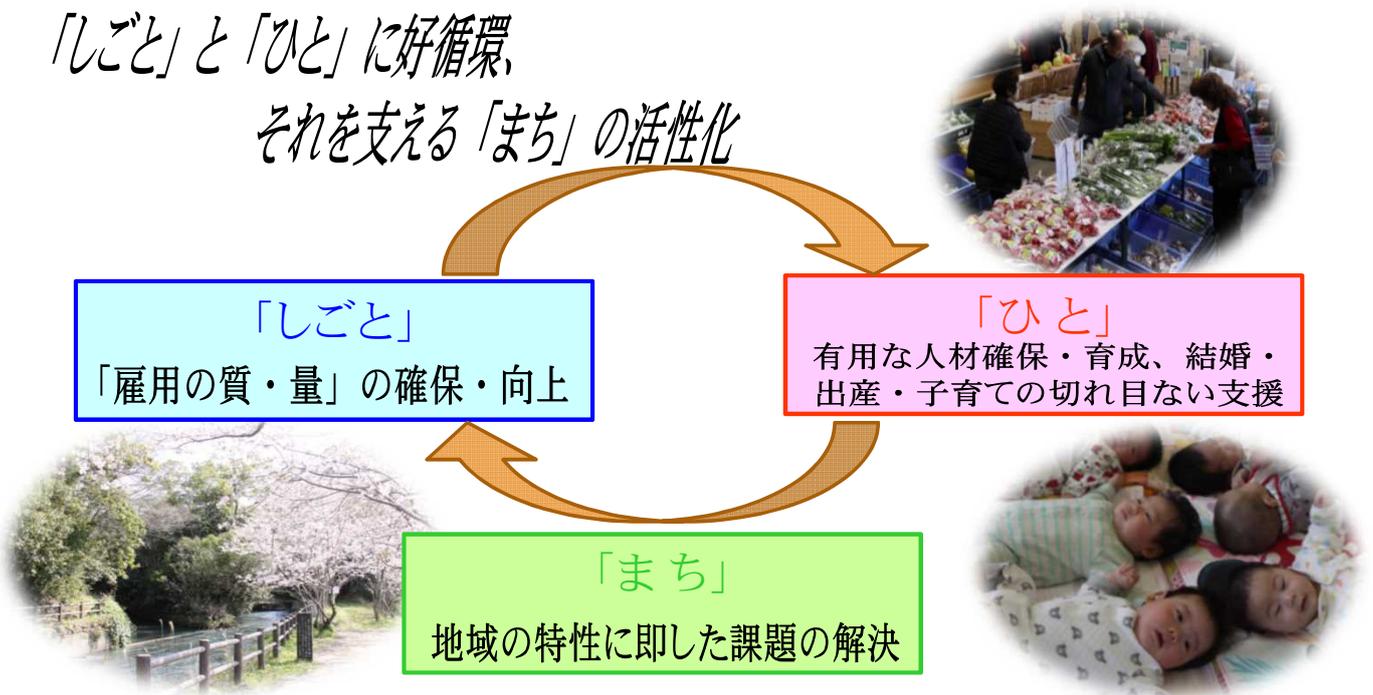
- 総人口：令和22（2040）年に31,300人、令和42（2060）年に30,800人を維持。
- 自然増減：合計特殊出生率が2030年に1.84、2040年に2.07、2050年に2.27まで段階的に上昇することを目指す。
- 社会増減：転入者の減少を極力抑え、2025年からは社会増約120人の状況が継続することを目指す。

(2) 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的な考え方

香南市人口ビジョンに掲げた将来人口（約3万人）の実現に向けて、自然減の縮小や社会増に向けた施策を講じることで活力あるまちづくりを進めることが重要です。本市では、「香南市まちづくりグランドデザイン」、「香南市産業振興計画」、「人生支援計画」など、近年の新たな課題にも積極的に対応し、より実効性の高い計画を策定し、推進に取り組んでいました。

本市の持続的発展に向け、「香南市まちづくりグランドデザイン」、「香南市産業振興計画」、「人生支援計画」の各取り組みについて、プライオリティとその効果をにらみ、横断的かつ有機的に連携することで、確実に目標を達成するための総合戦略計画として、平成27年度から31年度までの5箇年計画として、平成28年2月に「香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を行いました。

「しごと」と「ひと」に好循環、
それを支える「まち」の活性化



(3) 推進体制について

総合戦略の
効果的な推進に向けて

以下の視点により、着実に実行していきます。

- ①総合的な仕組みを構築・強化する
- ②政策群同士の連携を図ることで、相乗効果を生み出していく
- ③成果(アウトカム)重視による数値目標とPDCAサイクルによる徹底管理とバージョンアップ
- ④多くの主体の参画・連携により取り組みを進めます

PDCAサイクルの視点

4つの基本目標を大きな政策テーマとして定め、実現すべき成果に係る5年後（令和元年度）の数値目標を設定します。

また、各施策においても、効果を客観的に検証できる指標＜重要業績評価指標（KPI）＞として、5年後（令和元年度）の目標を設定するとともに、各施策・事業ごとにPDCAシートにより進捗状況及び効果を点検、検証する。年度毎においても、取り組み状況を点検・検証を行い、必要な対策の追加、事業の見直しを行っていきます。

2. 第1期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標と基本的方向

総合戦略の策定とその推進にあたっては、香南市において、優先的に取り組むべき課題、及び、国の4つの目標及び政策5原則の趣旨を十分にふまえ、実効性の高い戦略策定を行うとともに、着実かつ確実に推進するための体制を整えます。

また、以下の4つを総合戦略の基本目標とし、基本的方向を定め、まち・ひと・しごとの創生を図る好循環を確立していきます。

国の4つの基本目標と政策5原則	香南市総合戦略における基本目標と5つの視点	基本的方向
① 地方における安定した雇用を創出する	① 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する	(1) 足腰を強め、「地力」を高める (2) 新たな産業づくりに挑戦する (3) 分野を超えた産業間の連携を強化する
② 地方への新しい人の流れをつくる	② 新しい人の流れをつくる	(1) 移住・定住促進のためのしくみづくり
③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1) 人生をトータルでサポートする体制づくり (2) 子ども、子育て支援・環境の充実支援
④ 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	④ 時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる	(1) 協働のまちづくり推進 (2) 災害に強いまちづくり (3) 交流人口拡大 (4) 大学との連携
【政策5原則】 自立性 将来性 地域性 直接性 結果重視	【戦略策定にあたっての視点】 ① 地域の強みを最大限生かすため、土地利用をふまえた横断的なテーマにより、総合的な仕組みを構築・強化する ② 政策同士の連携による相乗効果、実効性を高める ③ 成果重視の目標設定、PDCAサイクルにより、スパイラルアップと継続的な戦略強化 <hr/> 【推進にあたっての視点】 ④ 民間・産学、庁内の連携協議により取組みを進める ⑤ 各地区の連携・ネットワークの強化による知恵の結集	

3. 第1期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標とKPI、主な事業

総合戦略の4つの基本目標について、それぞれ数値目標を設定することとします。

また、基本目標においても、それぞれで基本的目標と効果を客観的に検証できる指標〈重要業績評価指標（KPI）〉を定め、5年後（令和元年度）の目標を設定するとともに、各施策・事業ごとにPDCAシートにより進捗状況及び効果を点検、検証を行います。



基本目標1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

数値目標		基準値（H26）	目標値（R1）
農業	新規農業者数	7人/年	15人/年
林業	森林境界明確化面積	188ha	600ha以上
水産業	沿岸漁業総生産量	1,313トン	1,200トン以上維持
商工業	製造品出荷額	407億円	500億円以上
観光	観光施設入込客数	93万人	120万人以上

基本目標2：新しいひとの流れをつくる

数値目標		基準値（H26）	目標値（R1）
人口の社会増減		社会減	社会増120人以上
県外からの移住者		3組	年間20組以上



基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標		基準値（H26）	目標値（R1）
婚姻件数（人口動態調査）		144件	154件
合計特殊出生率（住民基本台帳）		1.44	1.60

基本目標4：時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる

数値目標		基準値（H26）	目標値（R1）
自治会、協議会結成率	①協議会	47%	①協議会 100%
	②自治会	61%	②自治会 100%
自主防災組織結成率		89%	100%

3. 第1期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標とKPI、主な事業

<重要業績評価指標 (KPI) >

各施策において、効果を客観的に検証できる指標として、5年後の(令和元年度)の目標を設定。

基本目標1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (実績値)	目標値 (R1)	主な事業		
①足腰を強め、「地方」を高める	①農業の振興	①農業生産基盤の充実	■事業計画箇所進捗率	H26 7%	100%	・農業基盤整備促進事業 等	
		②治水・利水整備の促進	■事業計画箇所進捗率 ■農業集落排水加入率	H26 89% H26 60.9%	100% 62.0%	・工業用水条件整備事業 ・農業集落排水事業 (7地区) 等	
		③担い手対策の促進	■施設園芸ハウス整備面積 ■環境制御技術導入農家数	H26 19,869㎡ H26 9戸	52,500㎡(累計) 160戸(累計)	・園芸用ハウス活用促進事業 ・新規就農研修支援事業 等	
		④農産物ブランド化の推進と加工品の開発	■エメラルド®販売額 ■二ラ販売額	H27 447,000千円 H27 1,250,000千円	450,000千円 1,360,000千円	・産業振興推進総合支援事業 等	
		⑤消費者の安全安心志向への対応	■学校給食への市内産野菜(主要品目)の使用率 ■市内施設への供給先の確保	H26 20% H26 0箇所	30% 1箇所	・地産地消推進協議会補助事業 ・環境保全型農業推進事業 等	
		⑥中山間農地の保全と活用の促進	■有害鳥獣捕獲数	H26 349頭羽	2,000頭羽(累計)	・中山間地域等直接支払事業 ・有害鳥獣対策事業 等	
	②林業の振興	①森林の多面的な利活用の促進	■搬出・切捨間伐 作業道	H26 35ha H26 2,400m	250ha(累計) 13,500m(累計)	・団地化及び境界明確化事業 ・緊急間伐総合支援事業 ・水源の森整備事業 等	
		②森林の活用(木質バイオマス利用促進)	■農業ハウス用ベレットボイラー数	H26 2基	現状維持	・木質バイオマス利用促進事業 等	
	③水産業の振興	①漁港の改修・整備等の推進	■漁港施設の保全、改修整備率	H26 7%	43%	・水産物供給基盤機能保全事業 等	
		②漁業経営の基盤強化	■水産機能施設件数	H26 8件	12件	・漁業生産基盤維持向上事業 等	
		③漁場の保全	■除去地区の海藻類育成被度	H26 63%	70%	・水産多面的機能発揮事業 等	
		④観光漁業の推進	■地引き網漁業経営体の維持	H26 1経営体	1経営体	・滞在型・体験型観光推進事業 等	
		⑤水産加工品流通販売の推進	■手結加工場の販売金額	H25・26(平均) 1,469万	1,500万	・水産加工品流通販売推進事業 等	
	④農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化	①地産地消の推進	■手結加工場による給食センターへの食材納入回数	H26 3回	11回	・高知県漁協加工販売事業 等	
		②加工・流通・販売などの体制を強化	■手結加工場の雇用人数	H26 2人	4人	・水産物加工における雇用促進事業等	
	②新たな産業づくりに挑戦する	1) 商工業の振興	①企業誘致の促進	■新規立地件数	H26 0件	5件	・香南工業団地企業立地促進事業 ・工業団地造成事業 等
			②既存企業の育成・支援	■企業等訪問回数	H26 5回/年	10回/年	・企業誘致条例に基づく固定資産税助成金 ・緊急融資保証料補給金交付事業 等
			③魅力ある商業地・商店街づくり	■掲載店舗数	H23 130店	200店	・こうち商業振興支援事業 等
			④空き店舗の活用	■空き店舗の新規活用件数	H26 0箇所	2箇所	・経営発達支援計画に基づく空き店舗対策、事業承継 等
			⑤新規企業の育成支援	■懇談会の開催	—	1回/年 継続	・商工会との連携事業 等
		2) 6次産業化による新産業の創出	①魅力ある新商品の開発	■売上金額	H26 0円	51,431千円	・ヤシ特産品(水菓等)製造 ・販売施設整備事業 等
			3) 観光のまち育成	①観光・交流の拠点の場づくりと市民参加	■物部川フェスタの集客数	H27 5,00人	7,500人
		②情報発信手段の効果的な活用		■観光案内板設置数	H26 3件	5件	・観光案内板整備事業 等
		③地域に親しむ観光の促進		■「ボランティアガイド」(案内人)数 ■ウォーキングコース数 ■サイクリングコース数	H26 30人 H26 0コース・0コース	37人 5コース 6コース	・案内人会の活動支援事業 ・ウォーキングロード®及びサイクリングロード®整備事業 等
④活性化に向けたあらゆる産業との連携強化		■「まるごと旨市」への参加事業所数		H26 33事業所	37事業所	・市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業(カタログ販売) 等	

3. 第1期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標とKPI、主な事業

基本目標1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (R1)	主な事業	
③分野を超えた産業間の連携を強化する	1) 6次産業化による地産地商*の徹底	①地産地商の拠点(直売所)の機能拡充 ■やすらぎ市、あぐりの里、天然色市場の集客数	H26実績 295,705人	300,000人	・地産地商の拠点(直売所)の整備等	
		②地域内での創意工夫によるコミュニティビジネスの支援 ■特産品の開発数	H26実績 2件	4件	・集落活動センター推進事業 等	
	2) 観光拠点形成とネットワーク構築	①資源の再発見(価値化・付加価値化) ■新たな観光拠点			1箇所	・三宝山観光拠点化基本構想磨き上げ検討事業 等
		②観光・交流の場づくり(地域住民参加) ■イベント集客数	H26実績 57,500人	60,000人	・土佐赤岡どろめ祭り、絵金祭り、みなこい港まつり、冬の夏祭り 等	
③観光旅行会社(企画)とのタイアップによる複数観光ルートの構築 ■年間プロモーション活動		H26実績 2回	6回	・地域まるごと旅行商品の開発販売及び「トポレター」機能構築事業 等		
	④物部川流域3市での観光振興 ■観光周遊活性化モデルの構築			モデル構築	・高知県観光活性化ファンド* 等	
3) 産業人材の育成・確保	①雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場(拠点)の整備 ■支援制度利用者数	H26実績 0人	20人	・未来人材育成奨学金支援助成金 ・産業人材育成事業補助金 等		

*地産地商:いわゆる地産地消だけでなく、地域で生産される生産物や農水産加工品等を、地域が一体となって売り込むという考え方(産業振興計画分野を超えた連携テーマより)

基本目標2：新しいひとの流れをつくる

基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (R1)	主な事業
移住・定住のためのしくみづくり	①「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信 ■移住促進ホームページのアクセス回数			2,000回	・移住コンテンツ作成事業 ・移住ウェルカム支援事業 等
	②若年層の交流・情報交換やイベント開催 ■若年層交流会参加者人数			60人	・若年層の交流(出会いの場)やイベント開催支援 ・「移住フェア」開催 等
	③産官学連携、人材育成による暮らしと産業が調和した自立地域への支援 ■集落活動センター設置数			2箇所	・産官学連携名産品販売拡大事業 等
	④移住促進 ■空き家登録数			10棟	・香南市空き家促進事業 ・お試し移住体験 ・実態調査による空き家バンク登録 ・「移住・交流コンシェルジュ」による相談対応 ・高知県と連携した生涯活躍のまち(日本版CCRC構想)の検討 等

3. 第1期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標とKPI、主な事業

基本目標3： 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (R1)	主な事業
① 人生をトータルでサポートする体制づくり	① ライフステージに応じた切れ目ない支援	■ 人生支援計画についての相談件数		20件	・ 人生支援計画 ・ 香南まるごとポイント制度事業（仮） ・ ウォーキングロード及びサイクリングロード整備事業 等
	② 若者の出会いの場づくり	■ 出会いの場の開催回数		3回	・ 若者の出会いのきっかけとなる交流助成事業 ・ 結婚機運の醸成(ライブラウンジ開催) 等
② 子ども、子育て支援・環境の充実支援	① 子育てを支える地域の育成	■ 学校支援地域本部設置数	H26実績 4校	8校	・ 学校地域支援本部設置事業 等
	② 子育て施策の充実	■ 乳児家庭訪問回数 ■ 地域子育て支援センター利用者数 ■ 市のHP（子育て情報サイト）のアクセス回数	H26実績 334回 H26実績 4,010人 H28年度から実施	345回 7,000人 6,000回	・ 妊婦健康診査事業 ・ 乳幼児健診事業 ・ 乳児家庭全戸訪問事業 ・ 子育て支援事業 ・ パパママ教室 ・ 各種相談事業 ・ 地域子育て支援センター事業 ・ 乳幼児医療費助成制度の拡充 ・ 多子世帯保育料等軽減事業 ・ こうなんっこ夢実現プロジェクト事業(仮) 等
	③ 多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充	■ 保育所の預かり数（子どもの一時預かり） ■ 児童クラブの利用者数	H26実績 826人 H26実績 330人	838人 385人	・ 放課後児童クラブの充実 ・ 一時預かり保育の実施 等

基本目標4： 時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる

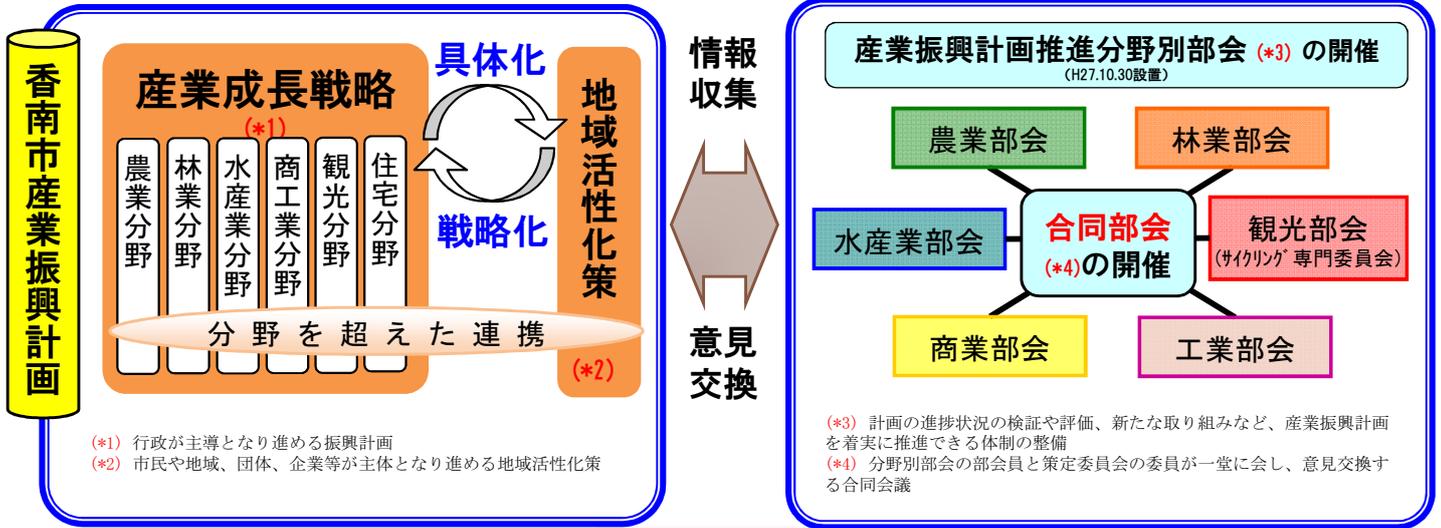
基本的方向		重要業績評価指標 (KPI)	基準値	目標値 (R1)	主な事業
① 協働のまちづくり推進	① 住民との情報交換	■ 地区懇談会開催回数		毎年開催の継続	・ 地区懇談会、地区懇談会カルテ 等
	② 地域活動の支援体制強化	■ 組織の設立数 ① 協議会 ② 自治会		① 19組織 ② 98組織	・ 香南市地域活性化総合補助金事業 ・ 香南市まちづくり協議会の開催 等
② 災害に強いまちづくり	① 耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実	■ 耐震診断件数 ■ 備蓄率（食料・水・毛布）	H26実績 803件 H26実績 42%	1,303件 85%	・ 住宅耐震化促進事業 等
	② 自主防災組織の設立・活性化	■ リーダー育成研修の参加組織数	H26実績 23組織	53組織	・ 地域防災対策補助事業 ・ 香南市みんなで備える防災総合補助金 等
	③ 災害時における地域の支え合いづくり	■ 香南市災害時要配慮者避難支援プラン（個別計画）作成件数		100%	・ 災害時要配慮者の避難支援プラン「個別計画」の作成 等
	④ 消防・防災対策の強化	■ 香南市総合防災訓練参加者数	H26実績 5,686人	7,500人	・ 香南市総合防災訓練 等
③ 交流人口拡大	① 集落活動センター(小さな拠点整備)	■ 集落活動センター設置数		2箇所	・ 集落活動センター推進事業 等
	② 地域団体の活動促進、支援充実	■ 地域活動団体の育成数		3団体	・ 市民役のまちづくり支援事業 等
	③ 歴史・食・体験等による交流人口の拡大	■ 交流人口の増加	H26実績 602,000人	800,000人	・ 歴史・食・体験等による交流人口拡大事業 ・ 広域観光推進事業 等
④ 大学との連携	① 大学との連携	■ 学生の参加回数 R1年度		150回	・ 教育及び研究に関すること ・ 学生の地域学習及び研究機会の拡大に関すること ・ 商品開発など ・ 農林水産業及び地域振興に関すること 等

4. 第1期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組み状況

【基本目標1】 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する に対して、

香南市では

産業振興計画 において取り組みを推進（平成27年度から）



平成28年度の取り組み

- ★産業振興計画推進分野別部会による取り組みを継続
- ★新たな事業等への取り組み
 - *産業人材育成事業
 - *未来人材奨学金支援事業
 - *新規就農研修支援事業（親元就農支援事業）

平成29年度の取り組み

- ★産業振興計画推進分野別部会による取り組みを継続
- ★新たな事業等への取り組み
 - *担い手育成センター研修支援事業（移住連携）
 - *環境制御技術普及促進事業（拡充）
 - *農業活性地域協議会事業
 - *森林・山村多面的機能発揮対策事業
 - *林地台帳整備事業
 - *海岸保全施設長寿命化計画策定
 - *遊漁船業等振興事業
 - *インターンシップ支援事業（移住連携）
 - *創業支援利子補給金事業（移住連携）
 - *大型クルーズ船の誘客促進事業
 - *産業人材育成事業（拡充）（移住連携）
 - *香南市空き家改修事業費等補助金（移住連携）

平成30年度の取り組み

- ★産業振興計画推進分野別部会による取り組みを継続
- ★分野別部会の部会員及び策定委員による合同会議を継続
- ★新たな事業等への取り組み
 - *農業大学校就学助成事業（移住連携）
 - *実践型研修ハウス整備事業
 - *園芸用ハウス整備事業（拡充）
 - *吉川漁港海岸堤防耐震調査事業
 - *街イベントの実施
 - *産業人材育成事業（拡充）（移住連携）

- ★分野別部会の部会員及び策定委員による合同会議を開催
 - ・合同会議を開催し、他の分野の部会員と意見交換が行え、分野を超えたつながりを持つことができた。

平成31年度の取り組み

- ★産業振興計画推進分野別部会による取り組みを継続
 - ・水産部会へ内水面漁業関係者を新たな委員として依頼する。
- ★分野別部会の部会員及び策定委員による合同会議を継続
- ★新たな事業等への取り組み
 - *農業次世代人材投資事業（拡充）
 - *森林環境譲与税の活用
 - *築いそ整備事業（種子島周辺漁業対策事業）
 - *空き店舗対策事業（拡充）
 - *未来人材育成奨学金返還助成支援（拡充）
 - *香南市情報サービス施設等設置促進事業
 - *自然体験型観光資源強化事業（ヤ・シパ〜カグラトデザイン）
 - *レンタカー会社と連携して誘客を促進
 - *3市の観光資源を生かした旅行商品の造成及び販売

【基本目標2】 新しい人の流れをつくる

【基本目標3】 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

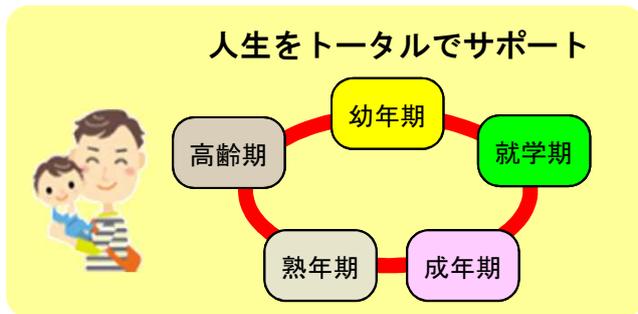
【基本目標4】 時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心なくらしをまもる に対して、

香南市では

人生支援計画 において取り組みを推進（平成27年度から）

香南市人生支援計画

ライフステージに応じた切れ目のない支援施策として、整理と目標と指標の設定（人生支援計画を策定）し、PDCAサイクルによって取り組みを開始する。



人口減少問題を考える部会の立上げ



各課の代表で組織し、人口減少問題に歯止めをかけるための対策を検討。人口増加施策や人口減少を食い止める施策として、移住・定住や子育て支援、就労支援など多くの分野での支援策の検討を行った。



平成28年度の取り組み

- ★人口減少問題を考える会の取り組みを継続
 - 構成メンバーを見直し、各課より20～40代の子育て世代や未婚の者を対象に13課15人で再編成し、人口増加施策や人口減少を食い止める施策の検討を行った。
 - 移住から定住につながる活動を期待し、地域づくりから新たな産業の創出まで、地域住民と一緒に取り組みを進める地域おこし協力隊員募集について提案を行った。
- ★新たな事業等への取り組み
 - *香南市ウエルカム移住・定住促進事業
 - *香南市恋い、めぐりあい応援事業
 - *高知大学出前公開講座



平成29年度の取り組み

- ★人口減少問題を考える会の取り組みを継続
 - 各課職員20代から40代の子育て世代や未婚の者を中心に編成。さらに保護者と大学生をメンバーに追加し、人口増加施策や人口減少を食い止める施策について議論を深めた。
- ★新たな事業等への取り組み
 - ◎香南市ウエルカム移住・定住促進事業（拡充）
 - ・香南市空き家改修事業費等補助金（移住連携）
 - ・農地付き空き家バンクプラン（移住連携）
 - ・移住希望者への住宅提供準備
 - *地域おこし協力隊員募集
 - *結婚新生活支援事業
 - *香南っ子夢実現プロジェクト事業
 - *こうなん健康チャレンジポイント事業
 - *一般不妊治療費助成事業
 - *地域子育て支援センター事業
 - *耐震診断改修設計費補助事業（拡充）
- ★分野別部会の設置を検討し、人生支援計画を着実に推進できる体制を強化（幼年就学期部会・成年熟年期部会・高齢期部会）

平成30年度の取り組み

- ★人生計画推進分野別部会を設置
 - ・人生支援計画を着実に推進できる体制の強化として、人生の各世代（幼年就学期部会・成年熟年期部会・高齢期部会）ごとに部会を設置し、その部会ごとに世代に応じた施策の検討を行った。
- ★分野別部会の部会員による合同会議を開催
 - ・分野別部会の部会員が一堂に会し、人生支援計画や分野別部会の目的などを確認し、H29年度の取り組みの点検・検証、次年度の取り組みについて会議を開催した。
- ★総合戦略企画会議を開催
 - ・人生支援計画や産業振興計画の施策との連携による効果的な事業展開を企画



平成31年度の取り組み

- ★人生支援計画推進分野別部会による取り組みを継続
- ★新たな事業等への取り組み
 - *空き家改修事業費等補助金（拡充）
 - *地方創生移住支援事業
 - *就学援助費（幼稚園給食費）（拡充）
 - *不妊治療助成事業（拡充）
 - *LINEを活用した情報発信の検討（市HPとLINEの連携事業）
 - *医療機関送迎サービス事業の検討（拡充）
 - *ふらっと座談会
 - *住民主体の受け皿づくり事業
 - *集落の活力づくり支援事業



5. 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略_KPIの達成状況について

総合戦略の策定とその推進にあたっては、香南市において、優先的に取り組むべき課題、及び、国の4つの目標及び政策5原則の趣旨を十分にふまえ、実効性の高い戦略策定を行うとともに、着実かつ確実に推進するための体制を整えながら、その実現に向けて、基本目標と基本的方向、具体的な施策を掲げ、まち・ひと・しごとの創生を図る好循環を確立していくこととしており、それらの達成状況及び成果と課題を総評として下記のとおりまとめます。

総合戦略の基本目標（数値目標）の成果と課題

①魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

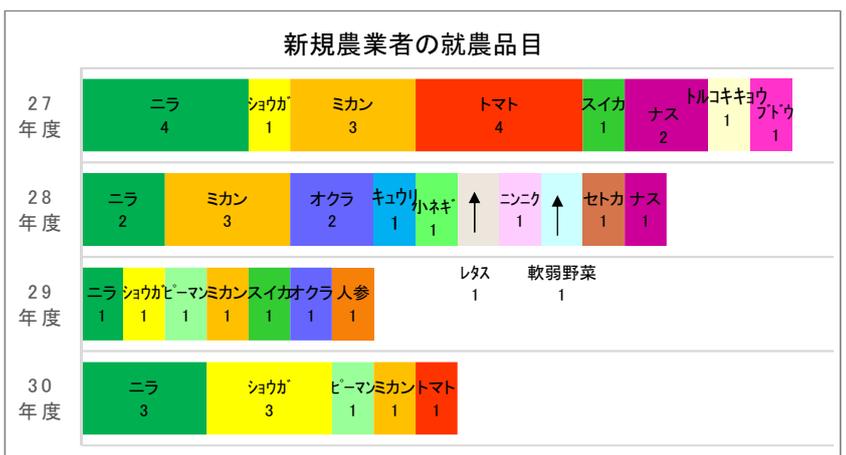
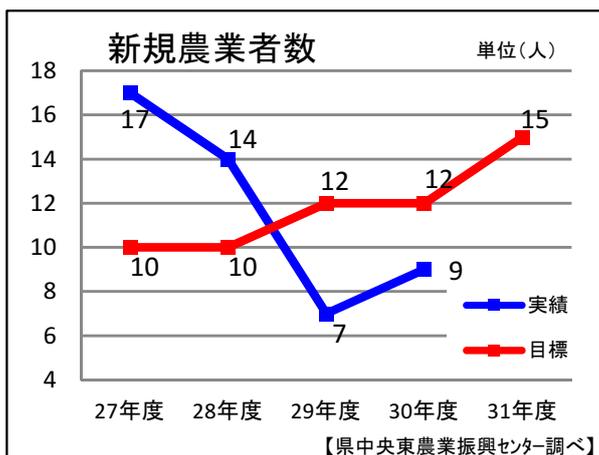
（農業分野）

農業分野の「担い手の確保（新規農業者）」については、平成27・28年度は目標人数を達成できていたので、平成28年度末に目標値の上方修正を行いました。しかし、翌29年度以降は、目標達成には至っていません。5年間の累計人数では、目標59人に対し、現在4年間で47人となっています。新規就農者の確保のための就農支援や補助制度は充実していますが、相談の中で経営計画や将来設計などが立てられない方も多く、就農まで至らないケースが多いのが現状です。引き続き、新規就農者が増えるよう、就農支援や補助制度の拡充と就農に向けたイベント等に参加し、周知を図っていきます。また、平成30年度に整備した実践型研修ハウスの利用が、より就農に近づくよう管理運営に努めていきます。

農産物のブランド化については、高知県の産業振興計画を活用してエメラルドメロンとニラのブランド化に取り組み大きな成果を上げており、販売力も向上しています。また、平成31年3月には、果樹生産者やものべみらいなど7機関が連携協定を結び、「未来の地域農業モデル」を官民一体で推進し、担い手育成や山北みかんを使った新たな商品開発、観光産業にも取り組んでいきます。



農業担い手候補生として、みかん農家を
目指して勉強中の地域おこし協力隊員



香南市の魅力的な農作物



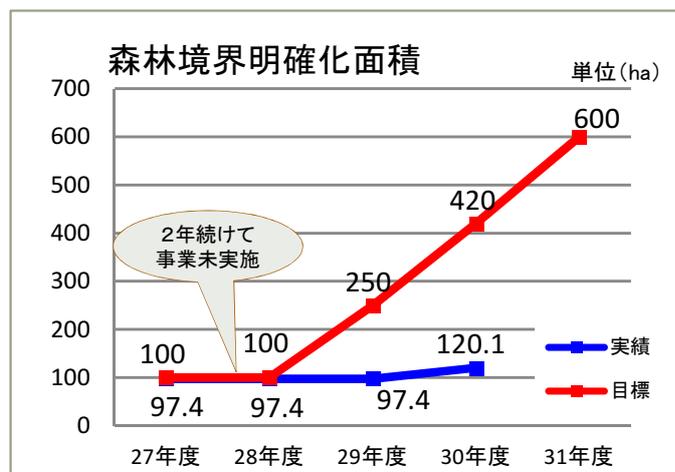
H31.3.14
果樹生産者やものべみらいなど
7機関が連携協定を結んだ

(林業分野)

林業分野の「森林境界明確化事業（団地化及び境界明確化）」については、事業主体の香美森林組合や高知県等関係機関との連絡調整において事業未実施の年度が続いていましたが、平成30年度から事業を再開できました。

間伐事業を実施することで、植物の生態系の保全や災害の防止にもつながるので、引き続き、間伐事業に取り組んでいきます。

また、高性能林業機械の導入により生産性も向上し、森林の保全・活用とあわせて、林業従事者の所得向上は図られています。



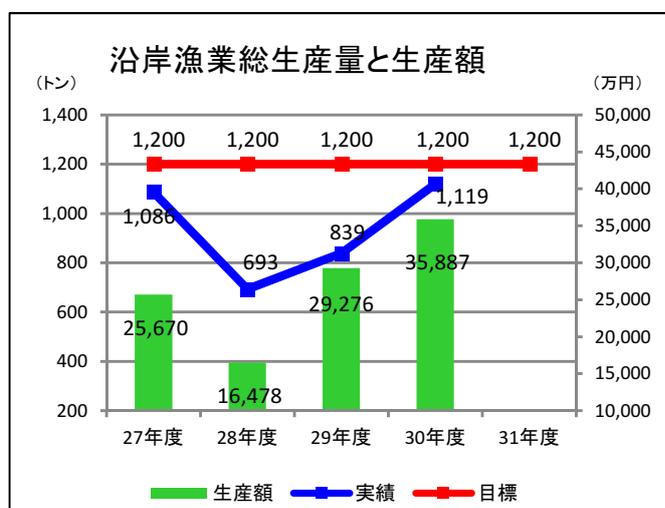
(水産業分野)

水産業分野の「沿岸漁業総生産量」については、平成28年度が693トンと例年になく不漁であったが、翌年度からは総生産量は上昇し、平成30年度には目標値（1,200トン）に大きく近づいています。

また、加工・流通・販売体制の強化に取り組んだ成果もあり、総生産量と合わせて生産額（漁業所得）も大きく上昇しており、所得の向上は図られています。

(※平成29年度までは県漁協3支所の水揚げデータを実績としていたが、平成30年度からは市内民間企業の生産量を追加。県漁協3支所のみは平成30年度は1,058トン)

漁港施設の改修も順調に行っています。また、水産加工品の流通販売として手結加工場の販売額は大きく売り上げを伸ばしており、今後も加工・流通・販売体制を強化していきたい。



手結漁協に水揚げされたシイラ

後継者の育成については、法人経営体が短期研修を1名受け入れたのみとなっています。漁業就業者の高齢化から新規漁業就業者の確保が課題となっており、関係機関と連携し確保に努めています。市内主要漁業形態は一人での就業は難しく、就業には至っていません。引き続き、就業支援センター等と連携を図り、新規就業者の確保に努めていきます。

また、市内水産物（シイラやじゃこなど）の認知度向上に向けた取り組みを検討・実施し、香南市ブランドの展開を図ります。

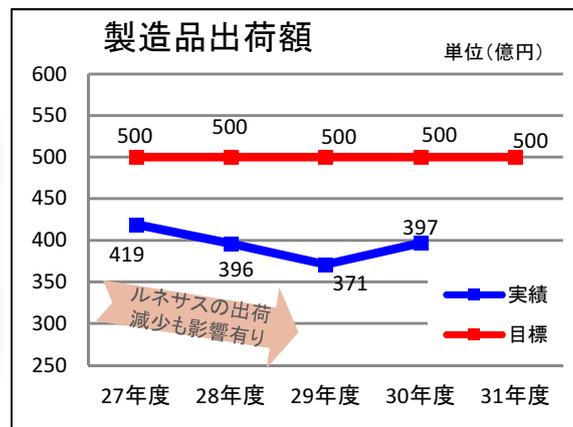


(商工業分野)

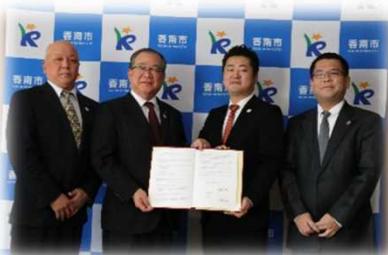
商工業分野の「製造品出荷額」は、基準年（平成26年度）が407億円（工業統計調査）であり、目標を500億円と設定していましたが、翌年度の平成27年度から減少となり、目標値の達成は困難となっています。減少の理由として、香我美町のルネサスエレクトロニクス（株）の撤退に伴う製造品の出荷の減少が大きく影響していると思われます。

しかし、平成30年度には香南工業団地への企業誘致（5区画）も完了し、今後は目標値を達成するよう、誘致企業と既存企業の生産性向上につながる育成支援および川谷工業団地等への企業誘致に一層取り組んでいきます。

また、平成30年度には企業に関するさまざまな知見やネットワークを有するイシン（株）と包括協定を締結することができ、今後は連携の強化と事務系企業の誘致に積極的に取り組んでいきます。



企業誘致が完成した工業団地



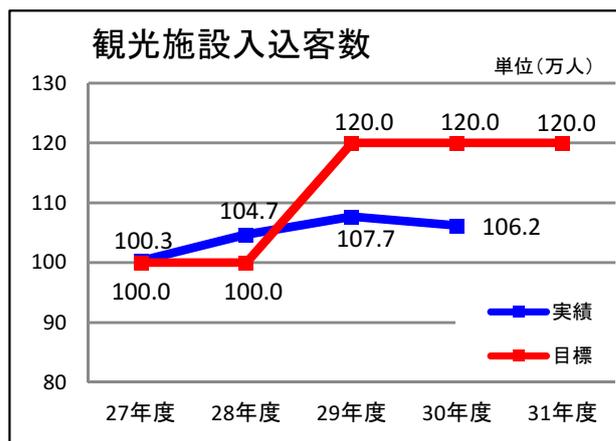
H30.12.18
イシン(株)と包括協定を締結

(観光分野)

観光分野の「観光施設入込客数」については、平成27・28年度は目標を達成しており、「志国高知幕末維新博（H29.3.4開催）」にあわせ、平成29年2月に100万人から上方修正を行いました。修正後は、目標達成には至ってなく、平成30年度においては、悪天候や豪雨災害等もあり、繁忙期の集客が減少したことから、昨年度実績を下回っています。

既存のイベントと合わせて、天候に影響されない集客確保のイベントの取り組み強化を図り、新規顧客の開拓やリピーターの増加を目指すことと、インスタグラムの活用など情報発信の仕組み作りの構築に向けた協議も行っていきます。

また、平成30年度には観光拠点の磨き上げとして、ヤ・シィパークランドデザインの策定とグランピングの整備を行いました。今後は整備したグランピングとマリンアクティビティ等を活かした施設や動線等の再整備、イベント等を企画し、「自然・アクティビティ型の観光クラスター形成」に取り組めます。



ヤ・シィパークに整備されたグランピング

また、自転車を活用した観光への取り組みとして、平成30年度に地域おこし協力隊を雇用し、市内のサイクリストや関係者に声掛けし、サイクリングを推進する団体「Maze-Cle」を設立しました。両者と連携し健康増進と環境に配慮した取り組みやイベント、サイクルオアシスなどの環境整備といった、市内の「サイクルツーリズム（自転車での観光）」に取り組み、観光の促進と一層の集客を図ります。



ヤシシクロクロスカップ



絵金蔵に整備された
サイクルオアシス



結成された「Maze-Cle」

②新しい人の流れをつくる

人口移動の状況として、人口の社会増減（転出入）については、平成28年度は社会減（▲42人）でしたが、平成29年度は76人、平成30年度は33人の社会増となっています。

地方創生をめぐる現状として、東京圏への転入超過（一極集中）が問題視されるなかで、香南市においては、東京への転出よりも、大阪や兵庫といった近畿圏や四国内への転出が多い状態となっています。また、県内においては、高知市、南国市、香美市の順に転出が多くなっています。

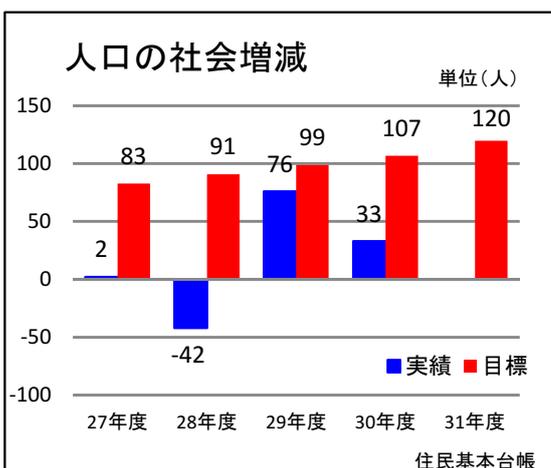
転入前の住所については、転出と同様に大阪や兵庫、四国内が多く、県内は、転出同様に高知市、南国市、香美市の順で多い状態となっています。

今後も、香南市に関係する地域へのアプローチを強めながら、関係人口の創出と拡大を目指すとともに、香南市の魅力情報を発信することで、新しい人の流れをつくる取り組みを一層行っていきます。

単位(人)

年度	香南市へ転入前の住所(都道府県)				香南市から転出先の都道府県(住所)			
	2017年度		2018年度		2017年度		2018年度	
順位	転入前都道府県(総数1256)				転出先都道府県(総数1180)			
1	香川県	93	香川県	81	香川県	74	大阪府	69
2	徳島県	47	愛媛県	57	大阪府	63	東京都	61
3	東京都	39	大阪府	55	東京都	57	香川県	60
4	大阪府	37	兵庫県	46	愛媛県	57	愛媛県	57
5	愛媛県	37	東京都	34	兵庫県	37	兵庫県	29
6	岡山県	36	広島県	30	徳島県	34	岡山県	25
7	兵庫県	35	徳島県	28	広島県	31	愛知県	23
8	愛知県	32	岡山県	19	京都府	25	京都府	23
9	広島県	22	愛知県	14	愛知県	24	熊本県	22
10	神奈川県	18	京都府	12	岡山県	24	神奈川県	21
-	その他県外・国外	194	その他県外・国外	163	その他県外・国外	199	その他県外・国外	247
-	高知県(香南市外)	666	高知県(香南市外)	704	高知県(香南市外)	555	高知県(香南市外)	573

年度	香南市へ転入前の自治体(高知県内)				香南市から転出先の自治体(高知県内)			
	2017年度		2018年度		2017年度		2018年度	
順位	転入前自治体(総数666)				転出先自治体(総数555)			
1	高知市	316	高知市	310	高知市	230	高知市	279
2	南国市	121	南国市	132	南国市	146	南国市	107
3	香美市	60	香美市	72	香美市	55	香美市	52
4	安芸市	22	安芸市	51	安芸市	25	安芸市	24
5	土佐市	22	土佐市	27	いの町	14	芸西村	19
6	四万十市	22	室戸市	24	四万十市	13	須崎市	17
7	室戸市	19	須崎市	11	須崎市	10	土佐市	10
8	須崎市	14	郡芸西村	11	室戸市	8	四万十市	9
9	いの町	14	いの町	8	芸西村	6	安田町	8
10	宿毛市	8	四万十町	7	四万十町	6	中土佐町	8
10	田野町	8	その他市町村	51	その他市町村	42	その他市町村	40
-	その他市町村	40						



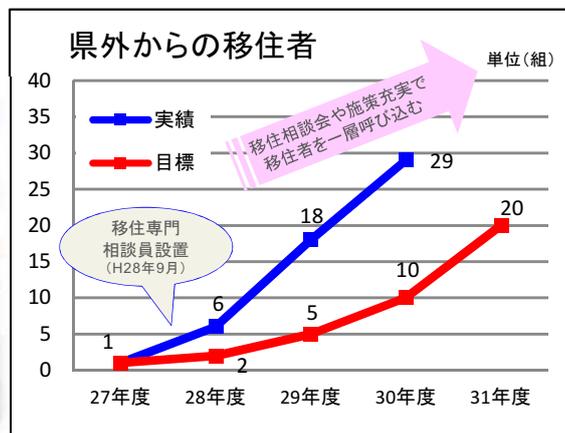
また、県外からの移住者は年々増加しており、平成30年度は29組50人が移住相談窓口を通して県外より移住を行いました。

これらは、香南市の魅力発信の取り組み（移住相談ガイドブック・移住相談会）や空き家バンク・お試し住宅といった移住促進事業の取り組みの成果といえます。引き続き、移住専門相談員の配置と、相談から移住後のフォローとして、トータルで支援できる体制の充実を図っていきます。

これらの移住定住希望者に対する支援とあわせて、今後は移住定住促進のための宅地開発等の取り組みも進め、新しい人の流れをつくっていきます。



移住相談会で香南市をPR



③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

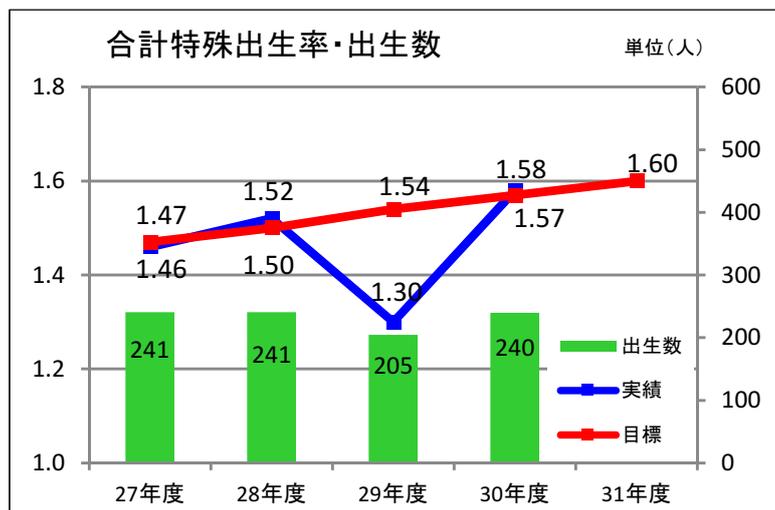
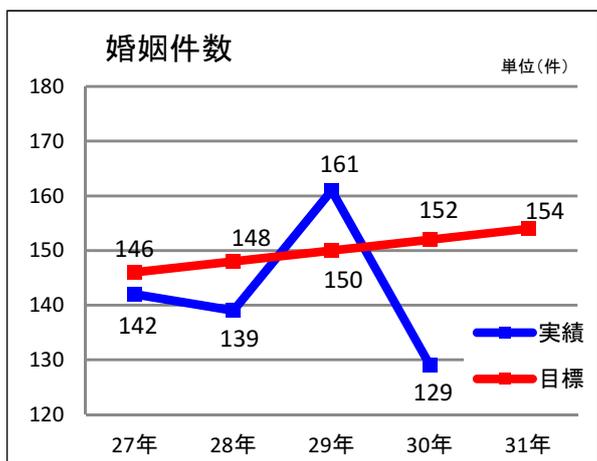
婚姻件数については、平成29年度は目標を上回りますが、翌年度は下回っており、近年で一番少ない実績値でした。

また、合計特殊出生率は、平成29年度は1.30と目標に届いていませんでしたが、平成30年度は出生数も240人と多く、1.58と目標の1.57を上回りました。

(出生数：H26年度245人、H27年度(241人)、H28年度(241人)、H29年度(205人)、H30年度(240人))

平成27年度に策定した香南市人生支援計画の取り組みにおいて、人生をトータルでサポートする体制づくりに努め、ライフステージに応じた切れ目のない支援の検討や協議を行っています。

引き続き、人生支援計画を柱として、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるための施策を展開するとともに、それら施策の継続した取り組みから、婚姻件数および合計特殊出生率の向上を図り、人生をトータルでサポートしていく体制を整えていきます。



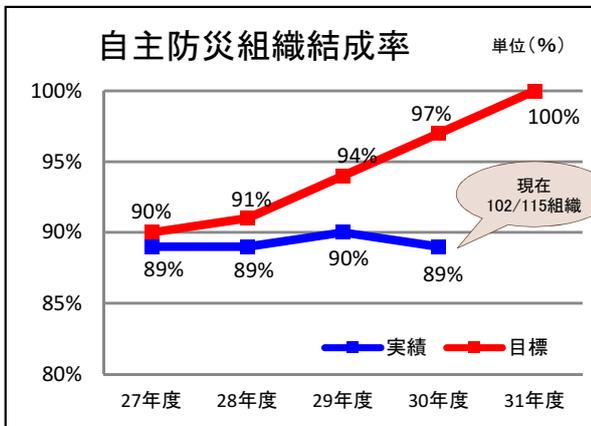
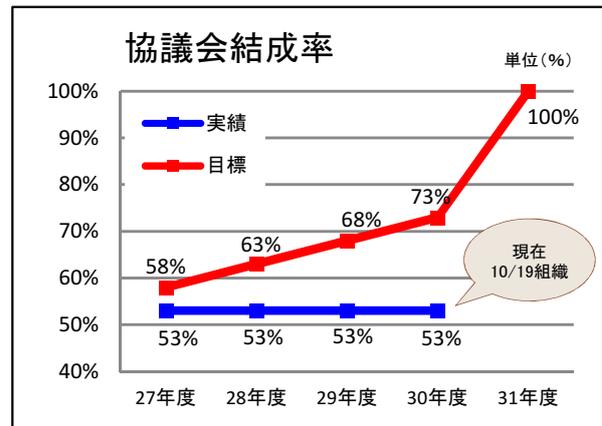
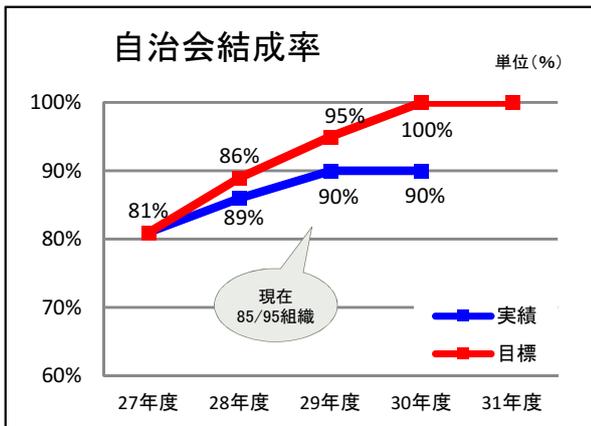
④時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしを守る

地域の連携の核となる自治会・協議会組織の結成率について、自治会は全部で95組織を予定していますが、現在85組織の結成で結成率は90%となっています。協議会については、19組織のうち10組織にとどまっており、結成率は53%の状態が続いています。

また、自主防災組織については、平成30年度に1組織が新たに設立し、102組織が結成し、90%の結成率となっています。両組織とも、目標数値には至っていない状態となっています。

協議会や自治会、自主防災組織の未設置地域については、結成率100%を目指して、引き続き住民説明会などを通じ、設立に向けた話し合いを担当課および地区担当職員と一緒に行っていきます。

また、協働のまちづくり、災害に強いまちづくりを目指した地域活動の支援体制についても、引き続き、地域活性化総合補助金の活用を周知し、自治会活動等の支援や強化を行っていきます。



災害時を想定した香南市防災訓練

また、交流人口の拡大を図るために、高知大学地域協働学部の学生を香我美町西川地区で受け入れて、地域の活性化に取り組んできました。特産品の開発やイベントの開催、市民が集う取り組みを行い、交流人口の拡大と地域の活性化は充分図れてきました。しかし、来年度以降はこの受け入れが終了するので、これまでの取り組みの継続と新たな官民連携を検討していく必要があります。



開発品の『西川ジャム』



山北みかんマルシェへ出店

数値目標と重要評価指標の評価検証結果

総合戦略に掲げる73事業について、毎年KPI評価を実施しています。平成30年度末の事業達成度合と事業数は、下記のとおりとなっています。

また、平成27年度からの実績値及び取り組みの内容については、別冊の「平成30年度総合戦略数値目標およびKPI評価書」でご確認ください。

基本目標 1 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する		事業数	達成度合			
			A	B	C	-
① 足腰を固め、「地力」を高める	(1) 農業の振興	11	5	5	0	1
	(2) 林業の振興	3	1	1	1	0
	(3) 水産業の振興	6	2	3	1	0
	(4) 農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化	2	1	1	0	0
② 新たな産業づくりに挑戦する	(1) 商工業の振興	6	4	1	1	0
	(2) 6次産業化による新産業の創出	1	0	0	1	0
	(3) 観光のまちの育成	8	5	3	0	0
③ 分野を超えた産業間の連携を強化する	(1) 6次産業化による地産地商の徹底	2	1	1	0	0
	(2) 観光拠点形成とネットワーク構築	4	0	2	1	1
	(3) 産業人材の育成・確保	1	0	0	1	0
連携する計画【産業振興計画】						

基本目標 2 新しい人の流れをつくる		事業数	達成度合			
			A	B	C	-
① 移住・定住のためのしくみづくり	(1) 移住・定住のためのしくみづくり	6	4	0	2	0
連携する計画【産業振興計画 人生支援計画】						

基本目標 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		事業数	達成度合			
			A	B	C	-
① 人生をトータルでサポートする体制づくり	(1) 人生をトータルでサポートする体制づくり	3	1	2	0	0
② 子ども、子育て支援・環境の充実支援	(1) 子ども、子育て支援・環境の充実支援	7	5	2	0	0
連携する計画【人生支援計画】						

基本目標 4 時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしをまもる		事業数	達成度合			
			A	B	C	-
① 協働のまちづくり推進	(1) 協働のまちづくり推進	3	1	2	0	0
② 災害に強いまちづくり	(1) 災害に強いまちづくり	6	1	3	2	0
③ 交流人口拡大	(1) 交流人口拡大	3	0	1	2	0
④ 大学との連携	(1) 大学との連携	1	0	1	0	0

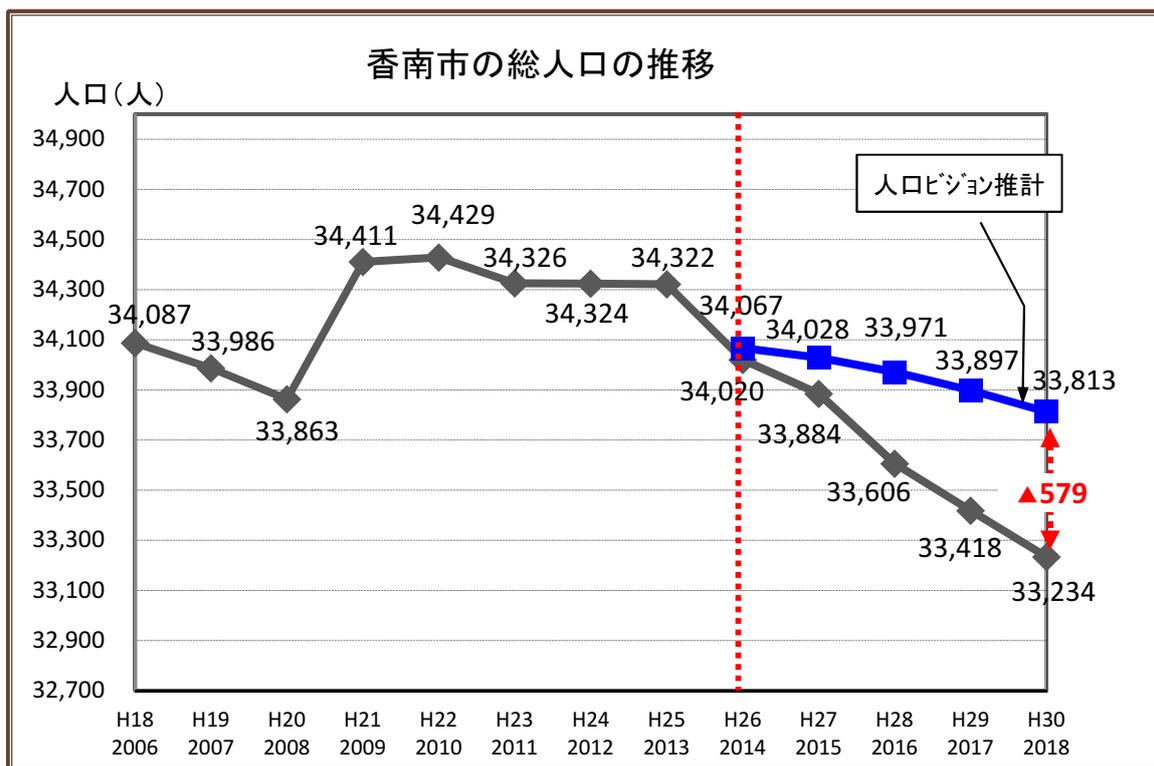
【評価基準】

- (A) ・数値目標を達成したもの（数値目標の達成率もしくは達成見込み率が100%以上）
 - ・数値目標ではないが客観的評価ができる目標を達成したもしくは達成する見込みがあるもの
- (B) ・数値目標をほぼ達成したもの（数値目標の達成率もしくは達成見込み率が60%以上100%未満）
- (C) ・数値目標の達成に向けて十分な進展が見られなかったもの（数値目標の達成率もしくは達成見込み率が60%未満）
 - ・総合戦略の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持できなかったもの、または状況を改善できなかったもの
- (-) ・年度の到達目標値が0、及び平成30年度着手のため達成状況が図れないもの

● 香南市における総人口の推移

人口ビジョン策定後（平成27年度）の香南市の総人口の推移については、緩やかな減少傾向にあり、その傾向は変わらず、平成30年3月末は33,418人（前年度比▲188人）、平成31年3月末は33,234人（前年比▲184人）となっています。

また、2060年に30,800人を目標としている人口ビジョン推計よりもその減少数は大きくなっています。



出典)住民基本台帳(3月末)

人口減少に歯止めをかけ、持続的発展にむけ、香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、「香南市産業振興計画」、「香南市人生支援計画」と連携した取り組みがスタートして、今年度で5年を迎えます。

産業の振興や雇用者の増加、移住・定住促進の仕組みづくりによる移住者の増加、また、子ども、子育て支援・環境の充実支援や協働のまちづくり（防災・交流など）など少しずつではありますが、成果が出ています。

香南市人口ビジョンについては、2060年を対象期間としており、5年目を迎える今年度での時点修正などの見直しは行わず、引き続き、人口30,800人を目標とします。

● 第1期 香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略のまとめ

香南市では、基本的な考え方でも述べたように、「香南市産業振興計画」「香南市人生支援計画」の取り組みにおいて、プライオリティ（優先順位）やその効果をにらみ、横断的かつ有機的に連携を図り、その取り組みを進めてきました。

第1期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略のまとめとして、基本目標1である「魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する」については、産業振興計画の取り組みにおいて分野別部会が組織され、取り組み状況の点検・検証や必要な対策の追加、事業の見直し等を行ってきましたが、数値目標の達成度は高いとは言えません。今後は、これまでの取り組みと新たな企業誘致や観光イベントの充実等に取り組み、来春からの第2期産業振興計画の推進とあわせて、さらなる活性化を進めていきます。

基本目標2の「新しい人の流れをつくる」については、目標とする社会増には達していません。しかし、県外からの移住者は目標を大きく上回っており、今後も、これまでの支援を継続しながら、新たに移住定住促進のための宅地開発等の取り組みも進め、新しい人の流れをつくっていきます。

基本目標3の「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」については、その達成率は高く、合計特殊出生率は目標値と均等、若しくは上回っています。引き続き、人生支援計画と連携し、市民の人生をトータルでサポートしていきます。

基本目標4の「時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心な暮らしを守る」は達成率が最も低くなっています。他の基本目標と同じく、これまでの取り組みの継続はもちろんのこと新たな目標の設定も検討していきます。

それぞれの基本目標で、これまでの取り組みの継続と数値目標や目標値の検討とあわせて、政策同士の連携による相乗効果を高めていき、引き続き、人口減少の抑制に向けた取り組みを進めていきます。

また、指標の達成以外の総合戦略もたらした大きな効果として、「香南市の将来について考えるきっかけになった」「人口減少問題に対する意識が高まった」ことがいえます。

今後は、この第1期で根付いた地方創生の意識や取り組みを来年度以降も継続することと、これまでの施策の取り組み結果や分析を基に、必要な改善等を図りながら、第2期香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定していきます。



